

な か よ く か し こ く い き い き

北九州市立中井小学校
文責
校長 野々平 美幸

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数、理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

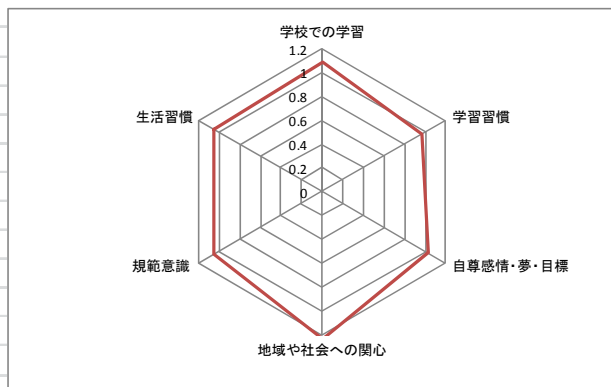
なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

調査結果から分かる最も顕著な特徴は、無回答率が圧倒的に低いことです。国語Aは全問無回答がなく、国語B、算数A、理科で、無回答が見られたのが1問1.2%のみと、必ず何かしらの考えを書いて答えようとする姿勢がうかがえました。算数Bでは、他と比べて無回答の問題が多く見られましたが、全国平均で無回答率15%を超える問題でも、本校は3.5%、つまり3人以内です。

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	ほとんどの問題で正答率が全国平均を上回っています。相手や目的に応じ伝えたいことを筋道立てて話すことに関する問題や、文章の中での慣用句や漢字(熟語)などの正しい使い方に関する問題の正答率が高く、日頃の学習の成果が現れていると考えられます。	上回っています
国語B	全ての問題で正答率が全国平均を上回っています。話合いで質問の意図や司会の役割を捉える問題や、話し手の意図を捉えながら考えをまとめて書いたり、目的や意図に応じて詳しく書いたりする問題の正答率が、全国平均を大きく上回っています。文章をよく読み、自分なりに考えをまとめて答えていることが分かります。	上回っています
算数A	どの領域も、正答率は、全国平均を上回っていますが、数と計算の領域が他の領域に比べると正答率が低かったです。180°より大きい角の大きさを求める問題や空間の中にあるものの位置をかく問題、混み具合を比べる問題の正答率がとても高く、よくできていました。	上回っています
算数B	多くの問題で正答率が全国平均を上回っています。示された考えを解釈する問題や条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述する問題は正答率が高く、全国平均を大きく上回りました。算数でも、問題の文章をよく読んで考えています。考えを記述して答える問題の正答率が、全国平均を大きく上回っています。	上回っています
理科	ほとんどの問題で正答率が全国平均を上回っています。生命の領域の正答率が高かったです。得られる結果を見通して実験を構想する問題や、複数の情報や実験結果を分析して考察する問題が、全国平均を大きく上回っていました。理科でも考えを記述して答える問題の正答率が、全国平均を大きく上回っています。	上回っています

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

多くの項目が、全国平均と変わらない傾向を示していますが、特徴的なのが、「地域や社会への関心」に関するポイントがとても高いことです。地域の行事に参加している児童が大変多く、全国平均を25ポイントも上回ります。また地域や社会で起こっている問題に対する関心が高く、地域や社会のためにすべきことを考える児童が多いです。しかし、地域社会でボランティア活動に参加している児童や新聞を読んでいる児童は、やや全国平均を下回ります。学習習慣としては、宿題はしているけれど、自分で計画を立てて勉強している児童の割合が全国平均よりも低いことが分かりました。学校での学習では、課題解決に向けて、自分で考え取り組んでいたと回答した児童の割合が全国平均を上回っています

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

今回の学力調査の問題は、長い文章や絵・図や資料を読んで、その場面や状況を想像して、考察し、判断して、問題に答えるものがほとんどでした。これは、2020年から全面実施となる新学習指導要領や大学入試改革の方向性を踏まえたものと考えられます。つまりは、これからの社会で求められる力が問われているのです。これまで本校が、「考える力」「考えを表現する力」を育てることに力を入れてきた成果は、現れつつあると考えます。今後も継続して、読んで、見たり聞いたりして、体験して、自ら考え、考えを表現し、考えをもとに他者と関わり協働できる児童を育てる授業づくりに力を入れて取り組んでいきます。特に、考えたことや思ったことを他者に適切かつ明確に伝えることができるように、話したり書いたりする指導を充実させていきます。

② 家庭生活習慣等に関する取組

今回の調査から、決められた宿題の他に、自分で計画を立てて学習したり、教科書を使って予習や復習をしたりするなど、自学自習の力をもっと高めていく必要があると考えています。自分のために必要な学習を自分で考えて決めて、自発的かつ計画的に行う習慣をつけられるように、家庭学習の取り組み方を学年のつながりや発達を考えて指導していきます。